

カリキュラム

コースコード：21-130

中小企業大学校 直方校

タイトル	決算書の読み方入門講座・11月				
サブタイトル	モデル決算書で学ぶ財務入門				
研修のねらい	経営活動の成果を表した決算書を的確に読み解くことは、財務面から企業経営・業務を行っていく上で重要な第一歩です。 本研修では、決算書の仕組みや用語の意味、数字の流れなどを理解した上で、決算書から経営体質や今後の課題などを読み取るポイントについて、モデル決算書を交えて具体的に学びます。				
研修のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・決算書の構造と記載内容の意味を学びます。 ・決算書を通じて経営状況を把握できるようになります。 ・決算書を分析して今後の事業展開に関する意思決定の手がかりを学びます。 				
日程	2021年11月24日（水）～11月26日（金）	日数	3日	時間数	21時間
対象者	管理者、新任管理者 ・財務会計や決算書の基礎知識を学びたい方 ・決算書を正しく読みこなすための基本を知りたい方 ・決算書から自社の課題を読み取りたい方	定員	30名	受講料	32,000円
		会場	中小企業大学校直方校		

プログラム

月日	時間	科目	内容	講師
11/24 (水)	9:10~9:30	開講式・オリエンテーション		アジア太平洋マネジメント 代表 青木 道生
	9:30~12:30	決算書と財務の基礎	決算書を読む上で必ず理解しておきたい事項について学びます。 ・財務会計と管理会計の違い ・貸借対照表（B/S）と損益計算書（P/L）の見方 ・B/SとP/Lにおける重要な用語の定義と解説 ・ケースに基づく各種シミュレーション ・損益分岐点の考え方と実務での使用法	
	13:30~15:30			
	15:30~17:30	事例で味わう決算書の面白さ	各勘定科目の意味や企業活動の背景について具体的な事例を交えて学びながら、モデル決算書を読み解いていきます。 ・ケースから見るB/SとP/Lにおける企業の戦略的背景 ・ケースから見る数値変動時の経営判断の見方 ・利益とカネの違いの考え方 ・キャッシュフロー（CF）の考え方と簡易的な見方 ・ケースから見るCF計算書における企業の戦略的背景	
11/25 (木)	9:00~12:30	決算書から読む企業活動のヒント（演習）	モデル決算書を題材に、実際の企業活動との連動をイメージしながら、業種や戦略による財務体質の違いや今後の課題、事業展開に関する意思決定の手がかりについて、ディスカッションを交えて学びます。 ・実際の企業決算書より、B/SとP/Lを読み解く ・B/Sにおける健全性の分析の仕方 ・P/Lにおける収益性の分析の仕方 ・CFより導かれる利益水準の適正値の考え方 ・P/Lベースでの予算のつくり方 ・予算P/Lの数値達成のための戦略と体制の検討	
	13:30~17:30			
11/26 (金)	9:00~12:30	決算書から読む企業活動のヒント（演習）	モデル決算書を題材に、実際の企業活動との連動をイメージしながら、業種や戦略による財務体質の違いや今後の課題、事業展開に関する意思決定の手がかりについて、ディスカッションを交えて学びます。 ・実際の企業決算書より、B/SとP/Lを読み解く ・B/Sにおける健全性の分析の仕方 ・P/Lにおける収益性の分析の仕方 ・CFより導かれる利益水準の適正値の考え方 ・P/Lベースでの予算のつくり方 ・予算P/Lの数値達成のための戦略と体制の検討	
	13:30~16:30			
	16:30~16:40	終講式		

講師紹介

氏名	略歴
青木 道生 (あおき みちお) アジア太平洋マネジメント 代表	ロサンゼルス、カナダ留学を経て、金融機関勤務。アジア太平洋マネジメント代表、(株)アジア太平洋トレーディング代表取締役、その他複数社の取締役を務める。 金融・財務及び企業再生のコンサルタントとして、多くの企業の再生に携わる。中小企業大学校（広島校・直方校・人吉校）講師、全国の商工会議所や行政機関及び上場企業を含む民間企業での講義・講演を多数務める。 特に指標や比率に依存しない決算書の読み方は、初心者にも分かり易いと定評があり、机上の空論ではない、実務的見地からの財務分析を実践する。

備考

※全日とも、12:30～13:30は休憩時間となります。
※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。